

1. 地域密着型金融の取組み状況

2024年4月～2025年3月の取組み状況

2025年3月末現在

大項目	具体的な取組み	個別の取組み状況
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化	① 事業再生に向けた取組 01 企業支援先の選定 【計数目標】 営業店毎に1先以上、全店で18先以上とする。 02 事業融資先全体に対する債務者区分のランクアップ 【計数目標】 年間で18先とする。 03 外部機関等の有効活用によるコンサルティング機能の強化 ② 中小企業金融円滑化および物価高騰の影響をはじめとした経済情勢の変化に係る条件変更先への支援 ③ 創業・新事業先への支援強化 「知多地域創業支援特別融資制度」を地元商工会議所・商工会と連携して創業・新事業先に利用促進を図る。 【計数目標】 年間で25先、貸出残高1億5,000万円とする。	・企業支援先21先を選定しました。 ・事業融資先のうち年間で計27先をランクアップすることができました。 ・5先、公益財団法人あいち産業振興機構の中小企業支援事業、および愛知県よろず支援拠点を活用しました。 ・民間コンサル企業との連携を強化しました。 ・経営改善計画書が未作成の先に対して、同計画書作成支援を行いました。 ・3月末における条件変更先は83先、うち経営改善計画書作成先は40先となりました。 ・創業・新事業先への融資の実績は46先、2億8,030万円 【知多地域創業支援特別融資】 1先 300万円 【創業支援融資】 45先 2億7,730万円
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底	① 事業価値を見極める融資 (不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資) 01 事業性評価に基づく新規事業先向けプロパー融資商品「絆ローン」の推進。 02 日本政策金融公庫との協調融資の推進 ② 目利き能力の向上を目的とした教育訓練の効果的推進 01 目利き能力向上のための研修を実施するとともに中小企業診断士の育成を図る。 02 独立行政法人 中小企業基盤整備機構による支援機関サポート事業の活用(職員向け講習会の開催)	・16先、9,800万円の取組がありました。 ・27先、10億5,240万円の取組がありました。 ・職員1名が、事業性評価のポイントと経営アドバイス講座を受講しました。 ・職員2名が、法人融資開拓力強化講座を受講しました。 ・職員1名が、中小企業診断士資格取得のための通学講座を受講しました。 ・職員2名が、「地域金融機関のための伴走支援力向上プログラム」の基礎編を受講しました。 ・3回シリーズ「事業承継支援に必要な知識・スキル習得」講習会を開催しました。

1. 地域密着型金融の取組み状況

2024年4月～2025年3月の取組み状況

2025年3月末現在

大項目	具体的な取組み	個別の取組み状況
3. 地域の情報を活用した持続可能な地域経済への貢献	① 地域活性化につながる多様なサービスの提供 01 ビジネス・マッチングの推進を図る。 【計数目標】 年間で18先とする。 02 中小企業経営者に対する経営セミナーの開催 03 相談窓口の充実 ・顧客利便性の充実 04 金融知識の地域への普及 ・若い世代（小・中学生）に対する金融知識の普及に努める。 05 コミュニティ・ビジネスを行うNPO法人等への支援 ・NPO法人等への支援を推進する。 【計数目標】 年間で2先とする。 06 物価高騰の影響等、経済情勢の変化に対する経営への影響に対する支援強化	・ビジネスマッチングは、成約先が18先となり目標の18先を達成することができました。 ・2023侍ジャパンHC 白井一幸氏によるWEBセミナーを開催しました。 ・愛知県よろず支援拠点の専門家によるWEB形式での相談を実施しました。 ・小学校3校で、金融教室を開催しました。 ・中学校1校で、金融教室を開催しました。 ・NPO法人2先へ各種支援を行いました。 ・伴走支援特別保証制度 70先 13億732万円 ・経営力強化保証制度 14先 2億5,800万円